

2023年度ロボット学会オープンフォーラム OF-15 製造・加工業における熟練者技術のDX化~AI化

レーザ加工技術者の技をAI化する

2023年9月11日



神奈川県立産業技術総合研究所特任研究員

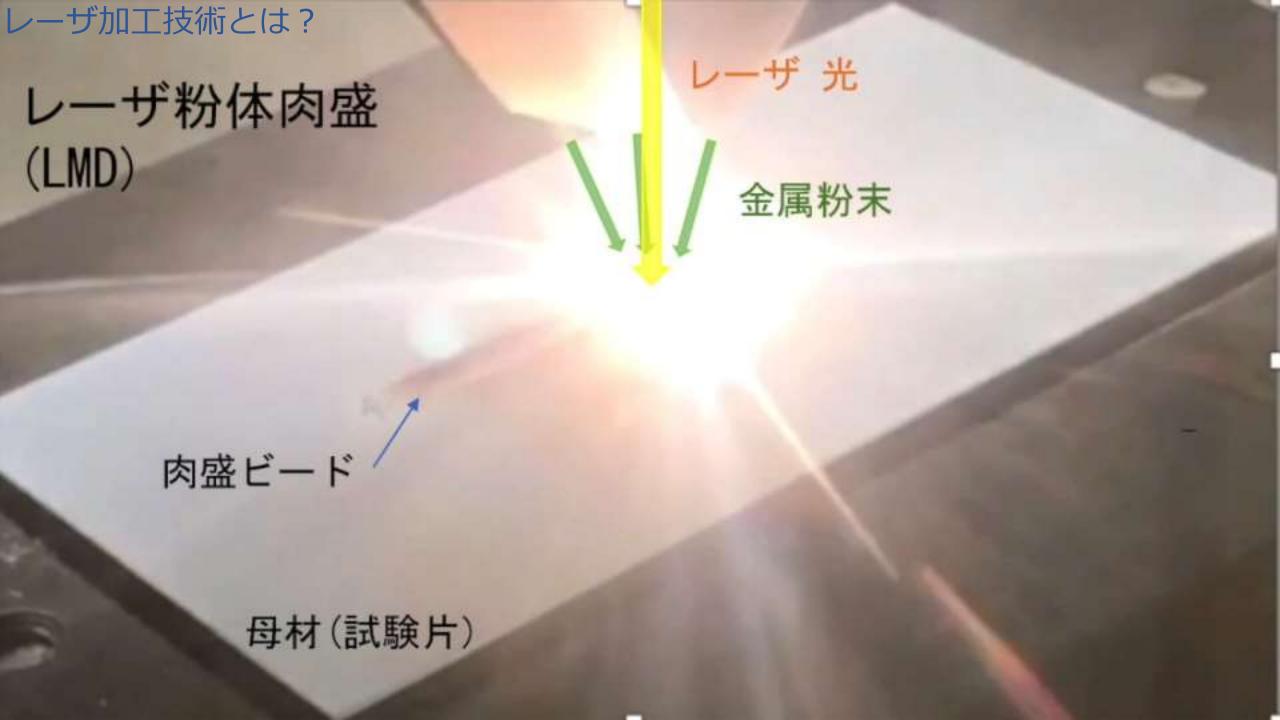


ものづくり技術と AI(機械加工)のインテグレーションは **熟練技術者**不足のモノづくり現場に役立てるか?

ものづくり(レーザ加工)技術 熟練技術者

AI (機械学習)

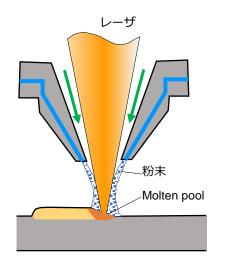
ものづくり技術者の視点で考える



レーザ加工のメリット

レーザ粉体肉盛(LMD)のメリット

必要な部位に必要な材料を付加 大型部品も可能で,省エネルギーに貢献







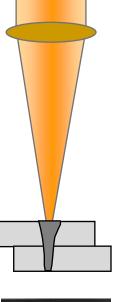


発電用タービン

(NEDO

レーザ溶接のメリット

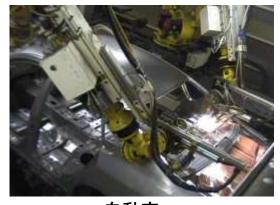
非接触•高速•低入熱•低歪







電池



自動車

レーザ加工の課題

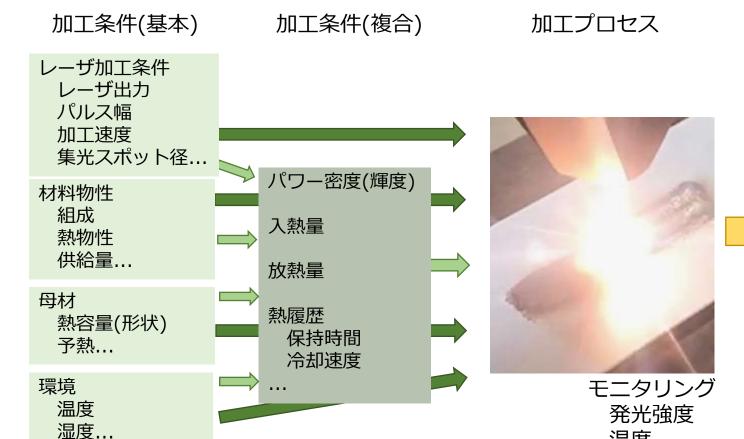
- ・加工条件(基本+複合)の数が多い
- ・非線形で依存関係 (親子関係)が複雑
- ・加工結果の評価項目も多い



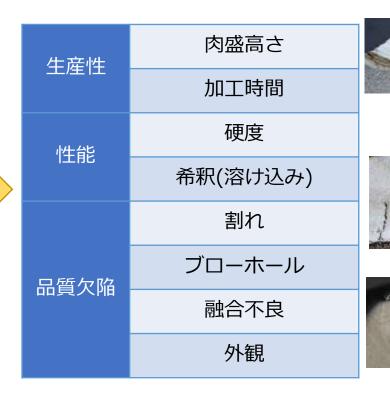
温度

熟練技術者が必要

- ・加工条件の設定(条件出し)
- 品質のトラブルシューティング



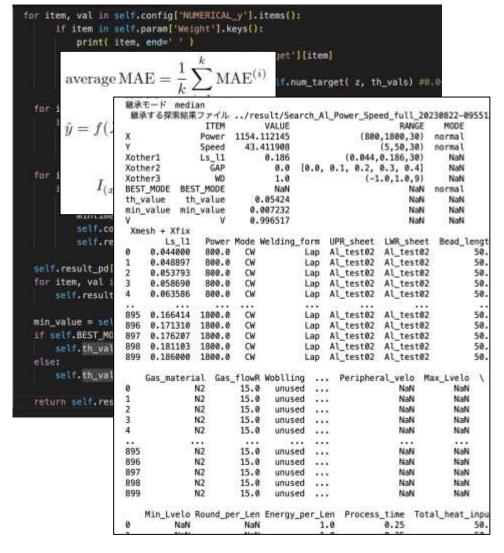
加工結果



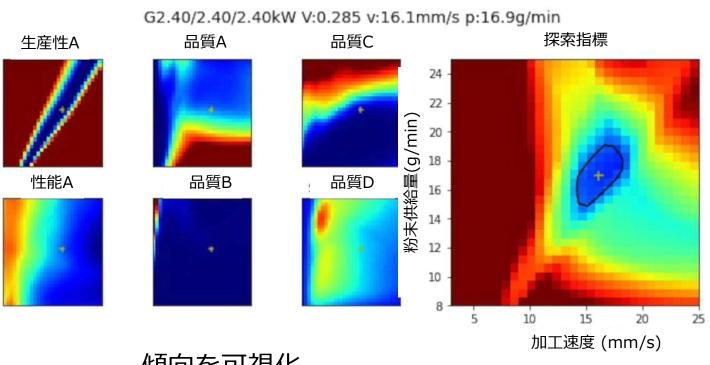
熟練技術者にAIの条件出しを納得して使ってもらうためには



数式,プログラム,数字の羅列 ピンポイント条件の提示



徹底した可視化



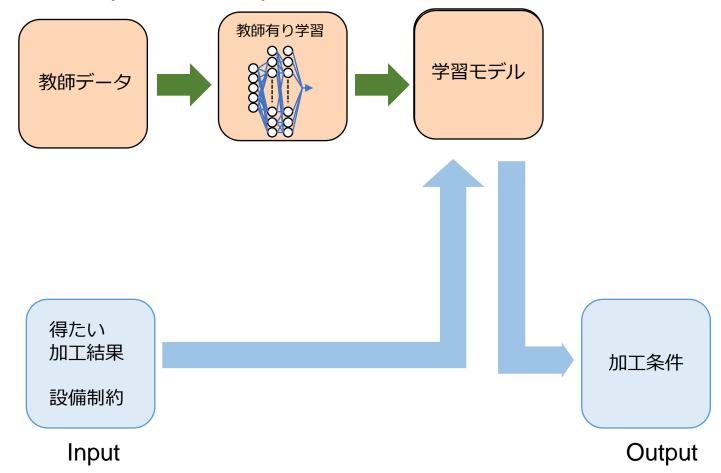
傾向を可視化 トレードオフを可視化 良好領域を可視化 動画化

加工条件の探索

まずは学習モデルを鍛える必要がある (NEDO

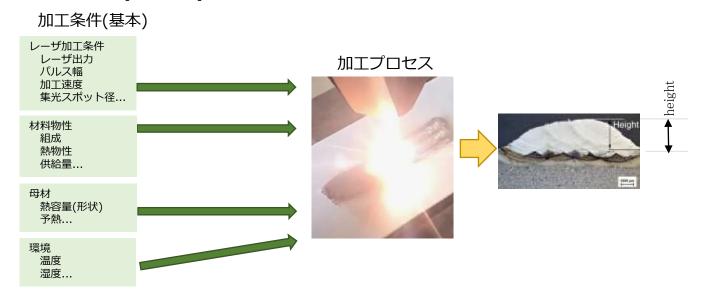


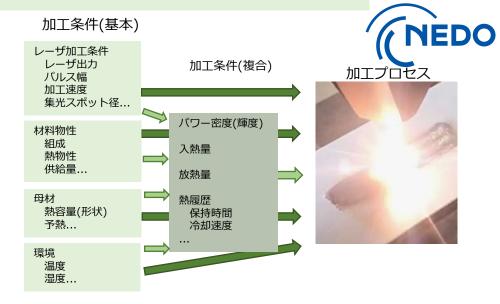
モデル作成 (教師あり学習)

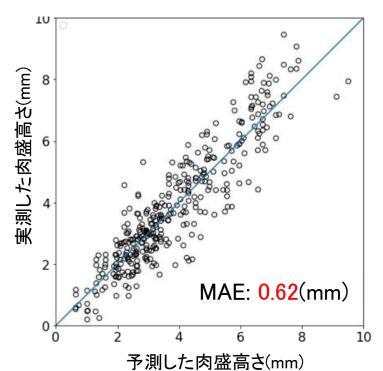


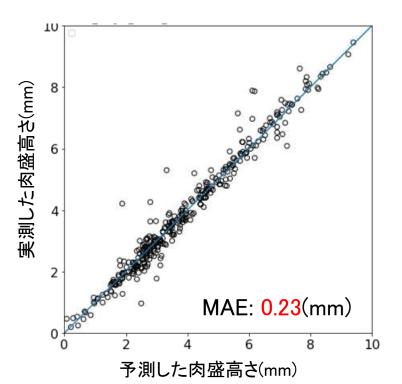
肉盛高さ(形状)の学習結果

加工現象に関係の深い複合説明変数が重要



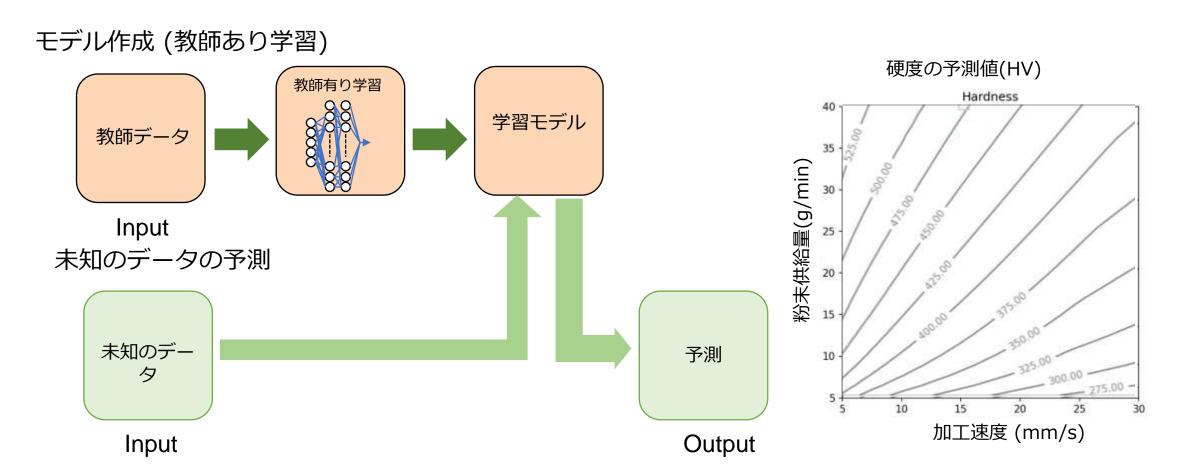






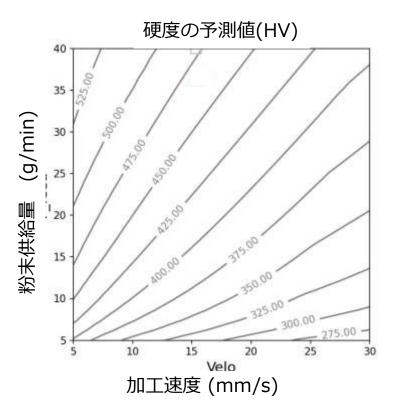
学習済みモデルによる予測

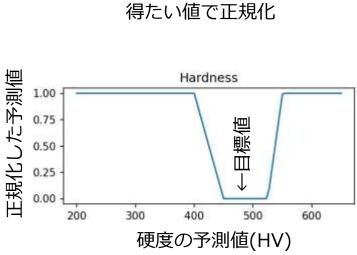


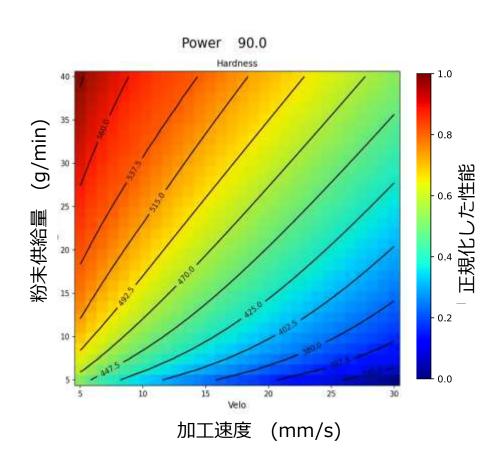


学習済みモデルによる予測



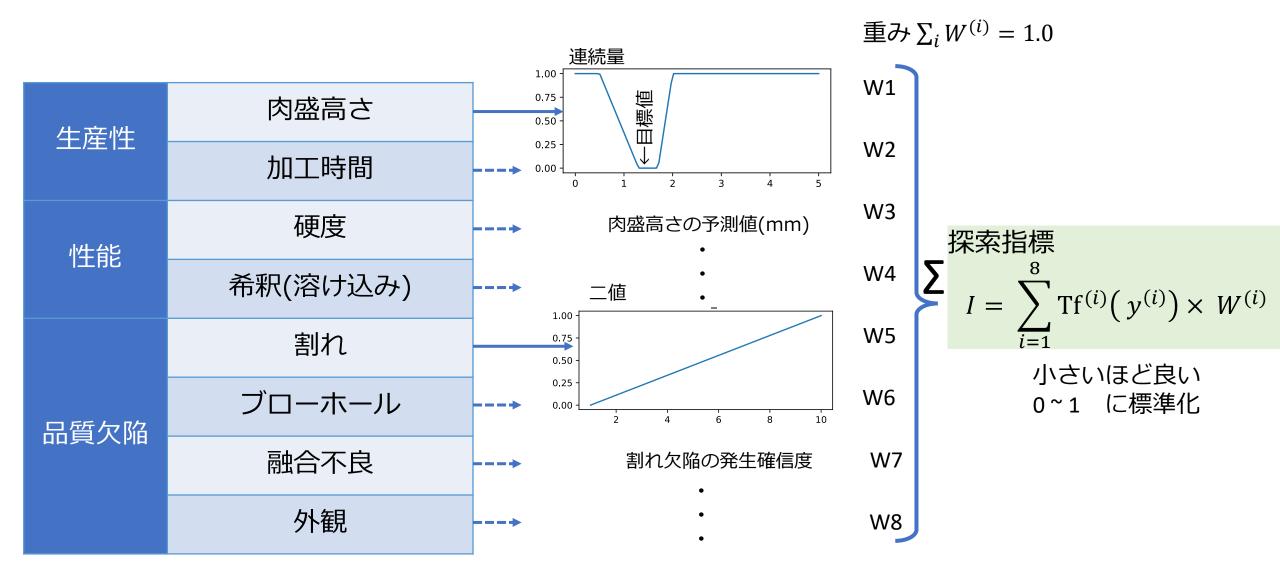






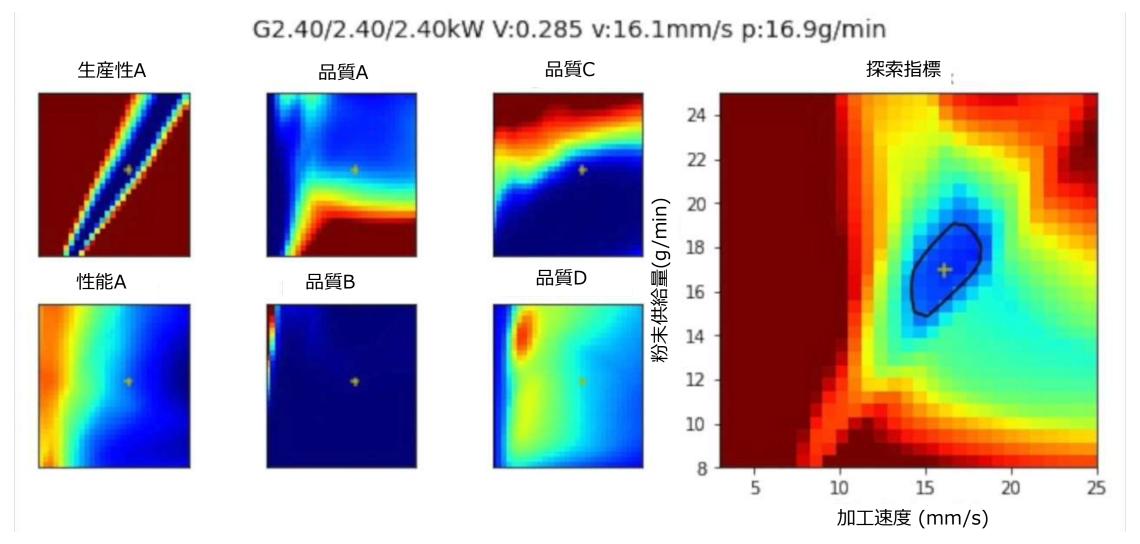
多目的変数を一つの探索指標へ変換





大型部品へのレーザ粉体肉盛(LMD)への適用事例

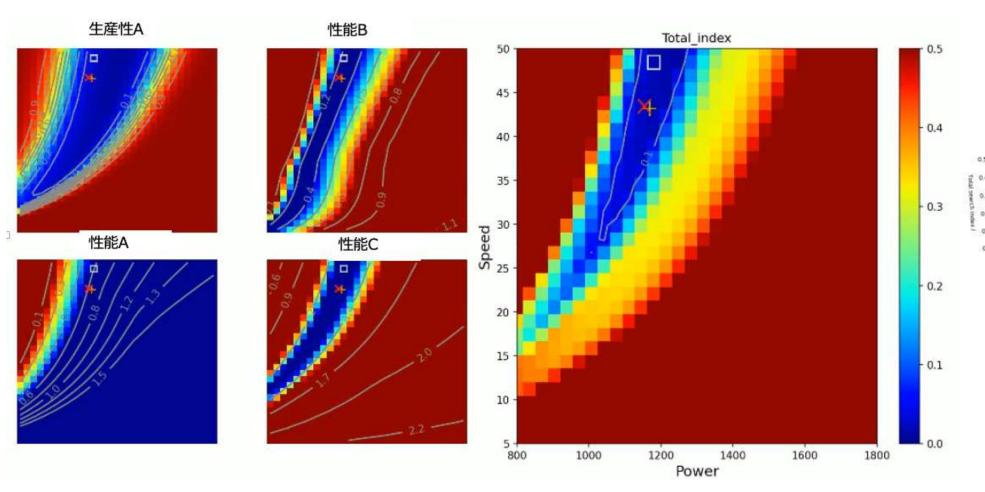


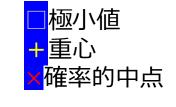


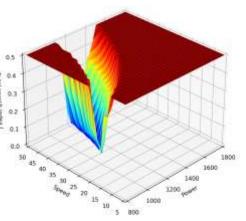
e-Mobility部品のレーザ溶接への適用事例



数種類のレーザ加工で適用検証中







まとめ



・熟練技術者にAIの出した最適条件を納得して使ってもらうために, 徹底した可視化を行なった事例を示した.

傾向を可視化

トレードオフを可視化

良好領域を可視化

動画化

- ・研究会(研究期間,加工機メーカ,ユーザ)を立ち上げ,本技術 の実用化検証を実施中
- ・加工中の発光強度をモニタリングして,品質変化の検出と変動要因を推定するAIモニタリング技術を,並行して開発中.